

# がんば

島三小育友会報  
発行  
教養部会報班  
印刷  
昭和堂印刷

## 県PTA大会の報告

会長 山本 篤五郎

去る六月十四、五の両日、誠早市において、県下PTAの研究大会が行なわれました。県内各小、中学校から千五百人以上の会員が集って、六つのテーマによって分けられた分科会において、又その前後の全体会において、暑い中を熱心に討論、研究を行なしました。私たちの育友会からは、学校側として校長先生、藤原先生、父母の側として森本、原副会長さん、猪原、織田常任委員さんと私、それに、常任委員の芥さんが二中の代表の一人として出席されました。それぞれ異った分科会におかれ

て参加しましたので、そのとりまとめのため、六月二十五日、出席者が集って各自参加した分科会の模様を報告し、検討いたしました。

去る六月十四、五の両日、誠早市において、県下PTAの研究大会が行なわれました。県内各小、中学校から千五百人以上の会員が集って、六つのテーマによって分けられた分科会において、又その前後の全体会において、暑い中を熱心に討論、研究を行なしました。私たちの育友会からは、学校側として校長先生、藤原先生、父母の側として森本、原副会長さん、猪原、織田常任委員さんと私、それに、常任委員の芥さんが二中の代表の一人として出席されました。それぞれ異った分科会におかれ

て参加しましたので、そのとりまとめのため、六月二十五日、出席者が集って各自参加した分科会の模様を報告し、検討いたしました。

て参加しましたので、そのとりまとめのため、六月二十五日、出席者が集って各自参加した分科会の模様を報告し、検討いたしました。

の経験の上に立って進めて行く。校外生活の指導も、子ども会の活動を盛んにすることによって、親と子のふれ合いの場となり、又地域の親たちが仲良くなる。

△国体に対する協力について、みどりや花いっぱい運動や、街をきれいにする運動とか、親切運動なども、親が手本を示して活動することによって、子どもたちに奉仕の精神を養う。

△国体に対する協力について、みどりや花いっぱい運動や、街をきれいにする運動とか、親切運動なども、親が手本を示して活動することによって、子どもたちに奉仕の精神を養う。



# 町内行事

蛭子鼻 松波 義郎

昔と比べて今日の子どものたちの体格・知能の発達に申し分ないほどである。町内行事(活動)をする時に私たちが考えることは、学校はこれ以上の何を求めているかということである。もし、学校教育を向かの意味で補うというのであれば、その「何」を補うのか私にはわからない。それ程に今日の学校教育は充実しているので町内の活動には深い意味を見出せないのである。強いて考えれば町内の子どもたちの隣同志の連帯ということだろうか。だとすると一つ恐れることは連帯の名にことわりた町内のセクシ・ナリズム化という点である。町内間の対抗意識や競争意識——飛躍させれば県下の小学校間のそれ——はもう不要だし、子ども達をその犠牲にしないなら、子ども達をその犠牲にしないなら「何」かということを考えるのと、とりあえずは情操徳育ということになろうか。これも本来は家庭教育の問題であって、今そうした社会教育を町内活動の一つとして考えるのはどうかと思うが、学校、或いは家庭で手薄であることに間違いはない。蛭子鼻育友会では数

年前から他の一般行事活動に加え、教会の日曜学校を町内行事の一つに加えている。日曜毎に子どもたちに宗教を通して人間性の尊敬さを教え、徳育を養うということとは子どもたちの将来に、人間形成の面において明るい灯を投げか

けるものといえよう。しかし折角こうした機会と場所とを与えられながらも、問題は親たちのそうしたものに寄せる関心の深さと熱意とである。これが欠けてはどのような町内行事も活動も意味をなさないのであるが、子どもたちと共に日曜学校をなしつつ思うことは、ただ体の丈夫な、頭の良い子というだけにとどめず、どのようにしたら子どもたち一人一人に与えられた能力をもって、社会のお役にたつかということを実際に考えるそうした子どもを育てたいものだという事である。

## 川尻町 山本 富太

川尻町においては、大分前より育友会が卒先して、子供の登校時に町内の国道横断箇所における交通指導と、通学道路に至る線路踏切での安全確認を行なっており、これは育友会が当番制で三日間ずつ勤行しているものです。この交通指導は登校時間が通車者の車のラッシュと重なり、国道での横断が非常に危険なため、交通事故から子供を守るために実施を思い立ったもので、大変意義があると思えます。子供達も集団登校時の右側通行を覚え、交通指導も機械によく守る様になり、お陰でこれまで事故もなく今日に及んでいます。これに関連して、毎年五月には警察の交通係長さんに来

## 元船津町 元島 和男

一、毎朝集団登校をしております。(八ヶ年間)  
七時三十分えびす様の前に、小学生・中学生が集まり国旗掲揚・「小さな親切一運動八ヶ条」の朗読を行なって登校します。その意義は、島原一番の交通量の激しい国道を横断するので毎朝指導員の誘導によって横断しております。  
国旗掲揚は、日の丸の国旗に恥じない立派な人間になろうと  
毎朝団員の手によって掲揚され、えびす様に「お早うございます」と挨拶しております。  
九月以前は毎朝三つの誓いを朗読しておりました、二学期から「小さな親切」運動八ヶ条に切り換え朗読し、一つでもよいこれを実行しようとして朗読しております。  
一、毎夜八時の夜廻り(八年間) 家の密集しております私共の町内では「火事」が一番恐ろしいことです。  
八年前少年団員と話し合い、実行しております。雨の日も風の日も、子供達の「火の用心」の呼び声は町内の人々を感激させております。  
一、毎週日曜日の子供貯金(七年間)  
一円でも五円でも無駄にせず貯金しよう、と、日曜日の午後六時子供貯金を毎週行ないます。一円、二円が十万円を突破しております。  
一、夏休みのラジオ体操も十五年続いております。  
一、日曜日の町内体操  
一、夏休み・冬休み・春休み中の毎日清掃(十五年間)  
一、市民体育祭の後清掃(十年間)  
一、歳末助け合い街頭募金(七年間)  
一、年末警戒に当る消防団員の方

間中は早寝早起きを励行し、朝の涼しい中に勉強や家の手伝いをする。又歯をくいしばって走ることに頑張りを植えつけるという効果もあるようです。次に海水浴のこと。八月三日に子供と育友会員家族で加津佐へ海水浴に出かけました。これには育友会員で各班ごとに参加人員の把握につとめ、監視に当たったので事故もなく、泳いだり、西瓜割りなどができました。ともすれば勝手に自由行動をする子供もいますが、皆整然と団体行動をとり、成果を挙げることが出来ました。この他八月十七日には町内育友会の資金つくりで隣品回収を行ない、四千円に上る収入を得ました。暑いさ中でしたが、子供たちはよく参加し、集団による活動を立派に果してくれました。

その慰問(六年間)年末警戒に当る人々の御苦勞を慰問しようとして、一回の小使錢を辛抱し慰問品を贈ります。

一、敬老会 十月二十日 町内会婦人会と共に六十五才以上の方を踊りや、仮装行列等でお慰めしてあります。(十四年)以上のことを行なっておりますのは、子供同志の心の結び合い、集団生活の中で閉結の力の偉大さ、善い行ないが人々にどんなに善い立派な行爲が出来るか、子供でも大人に負けない善い行ないは何時までも続く、それは指導員の努力と少年団員の協力によって実現されております。

### 町内の行事 (活動)

広馬場下 という所は、戸数も少なく、おおかたは商店経営の家庭で多忙な御父兄ばかりで、子供達と共に活動するといつても、夏休み中の旅行と産品回収、そして平常は、四か月に一回まとめて誕生会をやっています。

夏休み中の産品回収では、二、三日前に、町内各戸に協力を呼びかけておき、当日子供達と一緒に集めてますが、やっぱり突然やるより大変多く回収出来る様です。

金額にすると、本当にわずかなもので、これまで、子供会費の方にかたしてありました、もう少

### 町内行事のなかから

湊新地町内育友会 大島 政 助

育友会活動の目標は「子どものすこやかな成長」であり、そのためには、どのような行事を取り入れるか、ということの基本において、計画を考えたものの、例年の繰り返しで、どこかの町内でもやっていたら、それを平凡なものですが、その二、三を紹介いたします。

世の中が進むにつれ、家庭のほたらきも変わり、「子どもをどうしつければよいか」について知ることが大切ではないかと講師を囲

大 沢 マ サ

し金額があがれば、何かもっと公的に役立てる様な事が出来れば、子供達の為にもなるだろうと思われまふ。

次に誕生会は、四か月に一回ですが、一番交通の激しい町で、向う三軒両隣などという様なことの少ないこの頃ですので、広馬場下の近所同志で、思う存分遊んだり歌ったり、またゲームをやったりは声をはり上げたりと、たまたまそんなことだけで、子供達同志、とてもたのしもうに一時を過ごしている様に思われます。これもたまた一つの行事として、是非続けてやりたいと思っております。

### パークランド

上白土船津 上白土船津育友会

涼しいホテルの一室で、各自弁当持参で、親子のど自慢、ゲーム等、楽しい一日でした。

特に大きい収穫は、市内少年フットボール大会に準優勝したことです。

毎朝六時からの練習には、休むものもなく、最初ボールをつかむ

のが精一杯の子ども達が監督の指導もありましようが、練習と努力によって、多くのチームの中から準優勝出来たことは何にもものにも負けない収穫でありましよう。勉強を忘れた子どもに「勉強をしな」とソフトはさせない」と親が叱ると子どもが全部でその親に謝りにいったり、監督が朝寝坊すると起しに来るという状況で監督もついていくのが大変だったそうです。

試合には、燃出しに、殆んどの父兄が家を留守にして前売を忘れ三日間は子どもを中心に親子が一体となったのでした。こうした結果が子ども自身にも皆んなで協力し努力すれば何事も出来るのだという、大きな自信と親達の暖かい目を感じたことでありましよう。そのことが転機となり道路滑翔にも積極性が出たことは、子どもと接する場を作ることが必要であると教えられた感じがしました。

シズメのようにつまって出発しました。天気も上々、快晴で鯉の鳴き声も一段さえわたり、木々の間を飛び交っておりました。パークランドの滝の流や池の鯉やら眺め、又、周囲の林の中、デコボコした起伏を飛び越えたりして遊びました。男の子は元気なものでスタミナを大いに発散して、ひる前には腹がグウグウ鳴いていたそうです。十二時頃、ソーマン流して水道の水がシャワーと流れて、丸い台の中をぐるぐる回り始めました。ソーマンもつめたたくほぐれて、静かだった女の子が、にわかにかさわがしく聞かえてきました。コリッとしておいしく味もよかったです。山のようにザル一杯のソーマンも平げてしまわれました。店の女の人が一人宛、おサラにニギリごはん二つに玉子焼とツケモノを添えてこられました。やっぱり日本人には米粒が一番おいしかったですね。私達は板の座敷で横になりました。夏雲が高く飛び散って太陽の光がいつも強かったけれども、皆んな以外と暑さを感じませんでした。一時は皆で氷水を食べ、又帰りましたが、こんな夏の日のびと開放的に一日を過ごせるとても楽しく、思い出の良き一コマが出来ました。毎日忙がしい親達も、余暇をみつけて子供と共に遊び、又話して親子のキズナを深め、愛の上で家庭を守っていきたいと思えました。

保方面に遠出しようと思っておりますし疲れるけん、秋になってすぐしか時に行こうと話が決った次第です。それで子供達と相談して近い処の新山に行く事にしました。八月三日午前十時、小中学生と一緒に総数三十三名、マイクロスバスにス

# 町内子どもちよきん

上庄馬場 伊藤 緋沙子

町内行事について、と語り事では、先ず頭に浮かんだ事は、町内子どもちよきんだと思います。これは町内のある奥さんが始めて下さった事で、何年前に始まったかも知れませんが、とにかくもう長い事になります。

毎日夕方近くになると今日は〇ちゃん番よ。と言って三年生以上の児童に順番を決めて菓子箱の古いのにノートとエンピツを入れた箱を当番の子供の家まで持ってきて下さいます。

箱を受け取った子供は一軒一軒ごめん下さいちよきんですよ、と明るい声で廻っております。

都合のつく範囲で二十円、五十円、と入れてあります。都合の悪い時は今日はかけねと言えは子供も心えてハイの声を残して次の家に走り去ります。

このちよきんも夏休みの行事として行なわれる海水浴だとか、水族館見学等に町内の児童が一人残らず参加出来れば、との趣旨から始められたと聞いて頭の下る思いでした。

今では私達の暮しの中にとても自然な形で解り込んであります。家計のピンチの時も大いに利用致しております。子供が勝手にお金を引き出す事もありませんし、どれくらい預

町内行事についてと限定されるこれという活動をしていないの材料に困りました。結局野母崎旅行について簡単に記して見ました。大人四十名を含めて総員百十名バス二台に分乗七時出発。諒早の国体競技場を見学して日見を通り、右手に長崎港三菱造船所を眺め、香焼の新工業地帯高島、端島等について車掌の説明を聞きながら曲りくねった海岸道路をゆっくり走った。外海の波にあらわれた岩肌はさすがに美しかった。脇岬の公園は開園したばかりで駐車場もせまく、植込まれたばかりの植物はさびしかった。休憩所も木陰もなく、それに食堂もオープンしてなかったたので、約五キロ程引返したところの海水浴場で昼食をとり、海水浴をしました。そこも休憩設備はおそまつで日曜の観光客を収容する能力はない状態でした。責任者として実にみじめな思いをしました。それでも子供達はしなやかな砂と高い波に喜々として遊んでくれました。その間二時間半位。

栄町

作 吉 竹 一

自然と他のお母様方との対話も出来る様になり、家の子供は明るい性格になったようです。集まったお金はキチンと集計して又その奥さんのお宅に届けて来ます。小学校を卒業された御家庭の家もとても便利だからとおっしゃって続けておられるお宅もあります。

## 夏休み作品展について

川尻 山本 萬五郎

夏休み中における家庭学習の一つの趣旨としては大いに結構だと思いますが、現状が余りにも形式化しつつある点に問題があるのではないでしょうか。あく迄も子供の自主的・自発的なものが望ましいが、子どもと親の共同製作、研究についても、親子のふれ合いの場として、別の評価があってもよいのではないのでしょうか。

ただ、それが単なる結果だけを狙ったものである場合は逆効果もありうると思えます。私は毎年仕事のシーズンなので忙しく、思うように子どもを見てやれないし、相談に乗ってやらざるうりっ放しで、まことに恥し

結果反省として下見をし、昼食の休憩所等も手配し、目的の様に充分調べておくべきでした。只嬉しかった事は乗車時間が長かったのに気分が悪くなる人も殆んどなく、子供達は元気で結構楽しんでくれた事。降車後の車内がとてもきれいであった事等々。考えますに育友会のこのような行事は教育効果など特に意識する必要はないのではと思えます。したがって、行事の意義・効果は皆さんの御判断におまかせするとして、成功不成功等の価値判断は

## 夏休み作品展を

見ての感想

桃山町

本 秀 鈴 子

今年も一足先に作品展を見てきた三年生の次女が、息せき切って私に話してくれた言葉がこうでした。「いろいろな作品があったよ。中でもメリーゴーランド、昆虫採集そのうちでも、すばらしい」と心にささやいたのは六年生位の人が作ったネンド細工。力強そうな手や足、いまにも動きそうだったよ。次は図画、いい色の組合せ色々な色をまぜてとてもきれい。私もこんなきれいな図画を一べんでもよいから書きたい。来年は展覧会に出されるように頑張ろう」と、汗と忍耐に依って一人一人の努力の積重ねで出来上がった作品に私は思わず感動の声と同時に拍手を送る一人なのです。

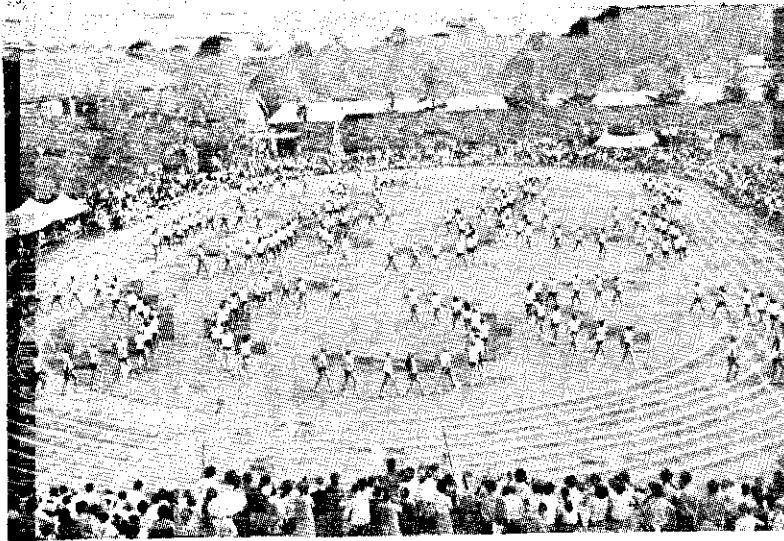


四十日間もの永い夏休みに克明に記されているいろいろなデータに意志の強さを感じ、個人個人のアイデアで作りあげた未来の科学者や芸術家に本当に皆んな良く考えるものだと思われ、展覧会を見る度に子供達の将来がたのしく感じさせられるのです。

# はじめての運動会

栄町 松下 瑞子

楽しみにしていた末っ子にとっすが未っ子は私に似ず主人に似たて初めての運動会がやってまいりのか？はずかしい様なのさ。ました。兄二人はかなり早いので小運動会の時、おそい上に私の方



## 運動会

を見て、ニコニコ笑いながら走るのグーンとおくれてビリで走ります。兄二人いわく「喜代ちゃん大運動会では僕達はずかしくない様せめて二、三番位で走ってくれよな」夕食の時毎日の様にそう言われるのでいささか末っ子は頭に来た様子でした。私はビリでも

良いから一生懸命走ってごらんそのうちきつと早くなるからと勇気づけはげましながら毎日練習にやりました。

あと数日で運動会という日の夕方、玄関で「お母さんただ今」と末っ子のいつもより元気を大きな声がします。出て見ますと、ニコニコしながら得意げに「お母さん今日はね私何度走っても一番と二番ばかりだったのよ喜代一生懸命走ったもん」私はびっくりしました。兄の二人もとび出して来て不思議そうな顔をしています。しかし、くわしく話を聞いて二度び

っくりです。その日の練習にかぎって他の一年生は皆休んで二人だけで走ったらしいのです。一団顔を見あわせて吹き出してしまいました。しかし末っ子にとってその日一日がどんなにうれしかったか、その気持ちが良いわかる様な気がしました。運動会の当日は玄関の受付係をおおせつかり子供のゆう

ぎや走る姿が頭にちらつき落ちつきませんでしたが、やっと午後からの競技で歯をくいしばって一生懸命走る末っ子の姿に、思わず涙のにじむ思いでした。

### はじめての運動会について

靈南町 高松 正 赴

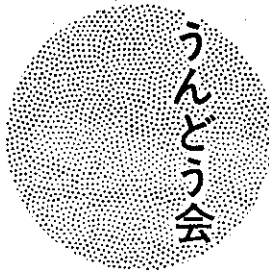
子供の成長は親として、なにものにもかえがたい喜びである。日頃子供との接触が少ないことは親として非常に残念なことだ。子供の発育振や学習の実態などを直接に知る事は種かなもので殆んどが妻などから聞いて、「よかったなあ」とホッとしたり、「駄目だなあ」とシカメ面をしたりする程度で子供に対して申し訳なく思っている。

日曜日など許される時間には、子供と共に童心にかえり、遊んだり、近くに旅行したり、努めてその時間をつくる事にしている。それで年一回の秋の大運動会は子供にも増して、親が楽しみに待ちこがれ、当日の朝はいつもより早く目ばさめるし、そわそわニヤニヤする事も親バカの特権だろうと生き甲斐を感じる一日である。はじめての運動会に出る妹の方のはし

勇気づけ、はげます事、おさな一年生でも心がまえしだいで短期間にとりもかわるものかとつくづく考えさせられた、運動会の良き一日でした。

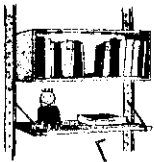
やぎはとでもでなく、早くから運動服に着がえ、運動帽をかぶって「お父さん入場式から見なさいよ。すぐ一年生も走るからね。と大変な張り切り様だ。つい、つられて早くから出かけた。今日一日は子供と一緒に楽しく過そうとこちらも大張り切りだ。「けいこの時は三番だった」と本番を前に幼いながらも緊張しているのがいじらしい。「何番でもよいから力一ぱいがんばって最後まで一生懸命走りなさい」とはげます。幼い子供達が走ったり、飛んだり、遊戯をしたりする真剣な姿をみていると、要は勝ち負けでなく最後まで頑張る努力の気持を持ってもらいたいとつくづく思う。小学校初めての運動会、幼い心に残る楽しき喜びは、おそらくその人の胸に永く記憶されることだろう。少しでもないやな気持を持たせない様にし

たいのは親の願いであり、また親のつとめでもあると思う。幼い時の思い出はその人の一生に与える影響が余りにも大きいからである。雨天の運動会、校長先生はじめ先生方のご尽力にお礼を申し上げます。



二年三組 やまもとのぶこ  
わたしは かけっこするときむねが ドキドキするかと思っ  
て、あまり ドキドキして、いま  
走りました。とうとう わたしたちのはんに なりました。先生が「ヨイ。」といわれて、ピストルが、「バーン。」と なって走り 出しました。わたしは、ぬかかれては たいへんと いっしょうけんぬい 走りました。  
やっと、ゴールにつきました。あまり いっしょうけんぬいになつたので、なんばんぬいになつたのかわかりませんでした。一は

んしんばいだった かけっこが  
おわり ぼっとしました。すずわりのときも わたしたちの白組が ました。きょうぎが おわってから けんがくの ばしょで 見ていると、空が だんだんくらくらって とうとう 雨がふり出しました。雨は なかなかやみそうに ありません。そのうち ザーと ひどく なつたので、きょうぎを やめて おひるになりました。  
わたしたちの ちょうないは まんいんでした。おひるからは 雨が やんだので のこっていたきょうぎが はじまりました。  
わたしが 一ばん 見たかったのは、先生たちや いくゆう会のきょうぎでした。  
それが とりやめになつたので びっくりしました。  
雨は ふつたけど とても たのしい うんどう会でした。



父兄の  
皆様方に

学校長

運動会実施についてはいろいろとご協力いただき、お蔭で無事終了出来ましたことを心からお礼申し上げます。

尚当日のご芳志額は

収入 三二七、六〇〇円也  
支出 一七〇、六四八円也  
残高 一五六、九五二円也  
残高の便途につきましては、この間の常任委員会で教育施設用具の購入等に使用させて頂く様になりました。  
右簡申ですが、お礼方々ご報告いたします。

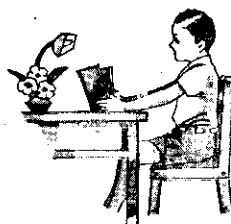
教養部研修班

※9月町内育友会の出席率並びに時間厳守の状況について  
1. 出席率は62%で前回の7月に比べ5%下まわった。  
2. 最高出席率は、白土(上)の88%、次で元舟津・南津町の80%、中組・下川尻(南)の78%  
3. 時間厳守については、平均20分遅れで、前回に比べ8分下まわった。  
4. 最高60分遅れの町内が2町あり、努力してほしい。  
5. 時間厳守できた町内、白土(上)元舟津・津町・南津町

橋本丈吉さん ありがとう

育友会施設部では本年度、育友会員の皆さんに奉仕活動をお願いいたしました。早速、五月二十三、五、六日の三日間、元舟津の橋本文吉さんが本造校舎のペンキ塗りをお願いし出られ奉仕してくださいました。さらに十月十七日にも奉仕してくださいました。感謝します。

編集後記



今年度第二号の「がんば」の原稿募集につきまして、みなさまの従来になく多数の応募がありました。  
私たち編集一同、うれしい悲鳴をあげた次第です。  
特に他町内の行事内容を参考にして来年にそなえて下さい。

広馬場(上)・蛭子鼻・川尻・栄町の8町内で、前回に比べて3町内下まわった。